

『AIデータサイエンスリテラシー入門, 技術評論社, 2022』修正対応表

ver. 20240404

ページ	該当箇所	修正前	修正後	対象		
				第1刷	第2刷	第3刷
6	2行目の後ろに1文追加		なお、モデルカリキュラムについての詳細は、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムのWebサイト (http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/) を参照してください。	○	○	
11	下から3行目	利用するのが困難な問題	利用することが困難な問題	○		
11	下から2行目	障害	障がい	○		
16	欄外の用語解説10	人工言語	マークアップ言語	○	○	
22	8行目	変えることによって効率的な	変えることによって、効率的な	○		
23	地図の凡例	「クリーム色、オレンジ色、白」の順	「オレンジ色、クリーム色、白」の順	○		
26	下から7行目	現状では難しいため、模索されている段階です。	現状では難しいため、そららに関する手法は模索されている段階です。	○	○	
41	1つ目と2つ目の図	アドレスバー > PC > ドキュメント > データサイエンス > 02章	アドレスバー > PC > ドキュメント > データサイエンス > 2-01	○	○	
46	手順⑥	太い枠線	太い外枠	○	○	
55	冒頭の図	縦軸の範囲：-10～30	縦軸の範囲：-10～40	○		
55	手順②	過去の気象データ	過去の地点気象データ	○	○	○
71	最後の図	縦軸の範囲：-10～30	縦軸の範囲：-10～40	○		
71	最後の図	波線	破線	○	○	
79	1つ目の図	縦軸の範囲：-10～30 凡例：青「東京」 凡例：オレンジ「東京の平均」	縦軸の範囲：0～30 凡例：青「平均気温（℃）」 凡例：オレンジ「平均」	○	○	
80	下の図	A2セルの文字列（2か所） 2021年の東京の月別平均気温	A2セルの文字列（2か所） 2021年の2地点の月別平均気温	○	○	
81	1つ目の図	凡例：青「平均気温（℃）」 凡例：オレンジ「平均」	凡例：青「東京」 凡例：オレンジ「東京の平均」	○	○	
86	Step 1の2行目の最後に1文追加		平均のグラフは右端の方に移動させておきましょう。	○	○	○
95	手順③	「値」を選択	「値」を選択し、小数第1位の表示にする	○		
108	手順⑥	⑥	⑦	○		
109	手順⑦		⑧標準偏差も同様にして、B5の値をコピーしD7に貼り付けて小数第1位までの表示にし、D7:D1833までコピーする	○		
111	Step 2	グラフの作成に必要なデータの確認	グラフの作成	○		
113	Step 4の4つ目の項目	0から30の10毎の表示に設定。	0から40の10毎の表示に設定。	○		
130	2行目	日別平均気温	月別平均気温	○	○	
147	手順③	M9	M10	○		
159	手順①	集計表を選択	集計表のE7を選択	○		
163	青枠の下の行	新しいピボットテーブルを作成し	新しいピボットテーブルをV7に作成し	○		
164	下の図	シート名が間違っている	シート名が画像の中に消えるように、画像の下の方をカット	○	○	
166	3-1-1の2行目	生じているのか学習しましょう。	生じているのか、学習しましょう。	○		
172	欄外の1つ目のワンポイント	情報ろえいをする可能性	情報漏えいを起こす可能性	○	○	